

中間テストまで8日!!

校外学習が終わり、次は中間テスト。

1学期の期末テストに比べると、テスト範囲が広くなっているはずです。今日、テスト範囲が発表されましたね。テスト範囲を見て、気持ちは切り替わりましたか？

本日からは部活動が休みになり、テストに向けての取り組みに集中できる環境になると思います。本番までどのような準備をするかが、成功への近道となるでしょう。

では、テストまで少しでも良い準備をするために、5教科の取り組みを紹介したいと思います。参考にできるものがあれば、試してみてください。No.9での“英語”的勉強方法も参考にしてほしいと思います。

【各教科の勉強法】

数学

暗記よりも理解して解く割合が多い。覚えることが少ない代わり、それを使いこなして問題を解く練習をしなくてはならない。
演習の量を確保するようにしよう。

英語

単語などの暗記系と長文読解などがある。
数学に比べると覚える割合が多いけれど、言葉の使い方のルールを身につけて、それを使って問題に答えられるようにしよう。

国語

定期テストだと漢字や国文法など暗記の部分も多い。また、教科書に掲載されている文章の問題は確実に点数を取っておきたいので、とにかく教科書の出題範囲である文章を読み込み、時代背景や使われている言葉の意味や意図まで読み碎いておこう。

理科

暗記が多いので、短期間で集中的に勉強することが可能。しかし、重要語句を覚えただけで、わかった気になっている生徒は意外と多い。
重要語句を覚えたら一通り問題演習することで実際に身についているかを確認しよう。

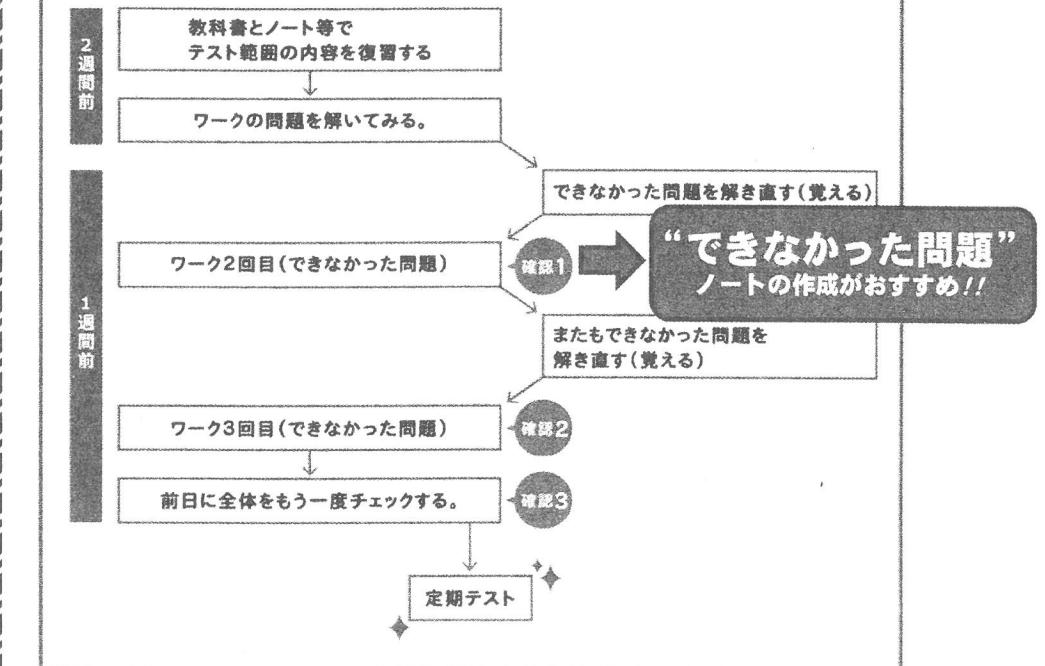
社会

理科同様、暗記が多い教科なので短期的な学習が可能。歴史では、時代が続いているため、重要語句につながりがある場合も多くある。
時代背景や場所、年代などを絡めながら覚えていこう。

英語や数学は試験範囲の問題を解いてみて、わかっていないところを質問したり復習したりできる時間を残そう。

国語・理科・社会は暗記部分が多い。今まで「暗記は苦手だ～」と思っていた人は、次の方法を試してみよう。

暗記教科の勉強の仕方



上の図で言うと、本当であれば2週間前から開始すべきところですが、“もう過ぎているから”といって何もしなければ、効果は“ゼロ”です。今日からできる範囲で取り組んでいくことが、成果につながっていくはずです。“とやかく言わずにとりあえずやること”が、成果につながる最大のポイントになるはずです。

暗記の方法は、人それぞれです。とりあえず暗記して、問題で確認する。という方法もあれば、問題を解いて解いて覚えていく。という方法もあります。

秋田はとりあえず暗記してから、問題にチャレンジする方法だったので、いろいろな人の方法を聞いていると、問題を解きながら覚えていく方法の人が多いような気がします。資格を取ることがあり勉強しなければならなくなつた時は、是非、問題を解きながら暗記する、という上の図の方法を試してみたい、と思っている今日この頃です。

秋田も中学生や高校生だった時、部活動で忙しくて気が付いたら1週間前、ということがほぼ毎回だった記憶があります。その時、今の考え方ができていれば、結果はもっと変わっていたんだろう、と後悔しています。みんなには同じ後悔はしてほしくない、と思っているところです。

まだ時間はあるので、目標達成に向か、しっかり計画を立て、取り組みましょう。

まあぶらかけた話
見えないといこいでどれだけ
元気張れるかなよ。

